

日時	発表者	連絡先	発表・配布先
令和5年11月6日（月）	(公財)ひょうご産業活性化センター 経営推進部長 足立 宰 (成長期待企業発掘・育成担当課長 林 謙太郎)	078-977-9118	

## 「成長期待企業」(2023年度上期選定)の情報提供について

(公財)ひょうご産業活性化センターでは、県内の中小企業支援機関等で構成する「中小企業支援ネットワークひょうご」事業の一環として、成長が見込める元気な企業を「成長期待企業」として発掘・選定し、企業の成長に向けた各種支援を実施しています。

この度、新たに下記の11社(累計591社)を選定しましたので、その企業の概要をお知らせします。

### 1 アルファテクノロジー(株) (コンピューター・ソフトウェアの受託開発・販売)

人と技術の調和を目指す！

#### (1) 沿革等

・当社は、1997年(平成9年)に設立。同時に神戸本社を開業。2017年(平成29年)に一般労働者派遣事業の許可を取得。2022年(令和4年)にMicrosoftパートナーネットワーク「ゴールドコンピテンシー」を取得した。2023年(令和5年)8月に浦野誠二社長が取締役会長に、中村隆志常務が代表取締役社長に就任し、現在に至る。

#### (2) 当社の特徴

・当社は技術的に高度な業務を実施しているが、高度な業務は人がなすことであるとし、人材に重きを置く経営を実践している。

・当社の事業の中心はインフラ系の制御システムおよび業務システムの開発である。道路情報表示板システムや旅客情報管理システムなどの「交通インフラ系」、気象災害対応システムや河川及びダムなどの水位・貯水量管理などの「生活インフラ系」等、技術的に高度な制御システム開発を得意としている。

その他にも、顔認証システム、託送業務システムなどを手がける。

#### (3) 今後の展開

・今後の展開については、クラウド型システム開発にも事業を拡大し、自社パッケージとして、サブスクリプションの販売という新規事業に取り組んでいる。現在、営業支援マップサービス「ナビルス」を開発中である。



道路情報表示板システム



気象災害対応システム



### 【アルファテクノロジー(株) 概要】

代表者：中村 隆志  
資本金：1,500万円  
従業員数：40名  
所在地：神戸市中央区東川崎町1丁目7-4  
ハーバーランドダイヤニッセイビル15F  
設立：1997年(平成9年)5月  
電話番号：078-360-1115  
ホームページ：<https://www.alpha-tec.co.jp/>



## 2 (株)こてら商店 (機械工具建設資材等販売、建設機械レンタル)

### ものづくりのコンビニ!

#### (1) 沿革等

・当社は、1946年(昭和21年)に多可町にて創業、1967年(昭和42年)に現在地にて店舗を開店。1974年(昭和49年)株式会社こてら商店を設立し、現在に至る。2002年(平成14年)西脇支店を開設(平成19年に加東市へ移転)。2013年(平成25年)ネット事業部をスタート。2021年(令和3年)にドローン事業を開始した。

#### (2) 当社の特徴

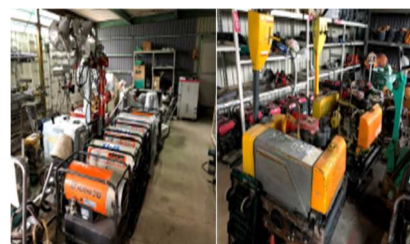
- ・当社は、多可郡多可町にて土木建築資材、工所用機械の卸小売、建機のレンタル事業を展開する企業であり、地元密着で事業を展開し、地域の土木建築林業を間接的に支える重要な役割を果たしている。メンテナンス・修理にも対応しており、専門のスタッフが常駐しているので急な故障にも対応できる。商品のアフターメンテナンスも対応するので、購入時の安心感にもつながっている。
- ・当社の強みは、地域の土木建築業者のニーズを満たすための豊富な商品点数、プロユーザーへの対応力、納期対応力、ウェブショップ対応等であり、北播磨を拠点に近隣の小都市の需要にしっかり対応しながら、地域経済の活性化に貢献する企業である。

#### (3) 今後の展開

- ・今後の事業展開としては、新たな販売拠点への出店やレンタル部門の売上拡大を目指す。SNS使用による知名度の向上やプロの事業者の専門的な質問についても対応できる社員の育成、問い合わせ対応速度のアップを目指している。
- 将来のニーズへの対応や高齢化・人口減少などの地域の課題を解決するため、ドローンによる農薬散布やラジコン草刈機のレンタルなどのサービスを展開している。



ハンズコテラでの店舗販売



レンタルコテラのレンタル機材



ドローンによる農薬散布

ラジコン草刈機のレンタル

#### 【(株)こてら商店 概要】

代表者：小寺 祥之  
資本金：4,800万円  
従業員数：26名  
所在地：多可郡多可町加美区寺内117番地の1  
設立：1974年(昭和49)年4月  
電話番号：0795-35-0298  
ホームページ：<http://handskotera.tools/>



## 受け継がれてきた伝統の匠の菓子づくり！

### (1) 沿革等

・当社は、明治28年に現在の地(多可町)にて創業。1954年(昭和29年)に有限会社戎屋菓子店を設立した。1993年(平成5年)に現社長園崎弘明氏が三代目店主に就任し、現在に至る。後継者である順也氏は、神戸の和菓子店で修行し、ル・コルドンブルー神戸校(フランスの料理学校)での勤務経験を持つ。その後フランスへ留学し、本場での洋菓子修行を積んだ。



地元特産品の酒米・山田錦を使った酒饅 山田錦

### (2) 当社の特徴

・後継者の順也氏は地元をこよなく愛し、中学高校時代に陸上部で培ったチャレンジ精神で、地元産を用いた超特大苺サンド、ショコラなどの独自商品を開発。令和2年から製作を開始した完全オーダーメイドの「似顔絵ケーキ」はSNSで注目を浴び、全国から引き合いが殺到している。

・当社は、順也氏の柔軟な発想によるオンリーワン商品の開発力と創業当時から受け継がれてきた伝統の和菓子製造技術に強みを持っており、本場フランスで修行した今風の洋菓子と伝統の和菓子の豊富なラインナップ(100種類以上の和菓子、洋菓子)が1つの店舗で購入できるのが特徴である。



地元産の超特大イチゴを使ったショコラ

### (3) 今後の展開

・今後については、さらなるニッチな地元の食品需要の取り込みとオンリーワン商品の全国への販売拡大を目指す。

ECサイトの開設による全国への販路拡大、急速冷凍設備導入による冷凍状態での全国への発送、賞味期限の伸長、似顔絵プレート作りの量産化、グルテンフリーの和菓子ケーキの商品開発などに力を注ぐ。



オンリーワン商品の完全オーダーメイドケーキ

世界でたった1つだけの似顔絵デコレーションケーキ

### 【(有)戎屋菓子店 概要】

代表者：園崎 弘明  
資本金：315万円  
従業員数：10名  
所在地：多可郡多可町中区中村町104番地  
設立：明治28年  
電話番号：0795-32-0261  
ホームページ：https://ebisuyakashiten.com/



## 4 共栄電器工業(株) (制御盤製作・建築電気設備工事)

顧客のあらゆるニーズに対応し、高品質な価値とサービスを提供する企業！

### (1) 沿革等

・1943年(昭和18年)に共栄電器工業所として創業。1952年(昭和27年)に共栄電器工業株式会社を設立。1959年(昭和34年)に東京出張所開設。1976年(昭和51年)に東京営業所・工場を新築。4代目 柳楽裕紀氏は大学を卒業後、不動産会社で営業職を担当。2009年(平成21年)当社に入社。東京営業、本社営業を担当した後、専務取締役を経て2018年(平成30年)に代表取締役に就任し現在に至る。



### (2) 当社の特徴

・当社は、食品・飲料・医薬等のプラント設備や病院・学校・公営住宅・環境関連の公共施設などの「受配電盤・制御盤の製作」及び「電気設備工事」の2つの事業活動を展開している。設計～製作～現地での試運転調整からメンテナンスまでの一貫生産体制をとっており、電気設備工事を総合的にワンストップで関西・関東の2極体制で迅速に対応できることが強みである。

・当社は、神戸ストークスのオフィシャルパートナーとなり、応援をしている。また、工業高等学校の生徒を当社にインターンシップとして迎えるなど地域社会に貢献する企業である。



### (3) 今後の展開

・今後については、さらなる成長を目指し、人材への投資を行う計画で、技術・技能伝承のための若手・中堅層の採用を積極的に実施し、教育していく予定である。



### 【共栄電器工業(株) 概要】

代表者：柳楽 裕紀  
資本金：4,000万円  
従業員数：62名  
所在地：尼崎市杭瀬北新町1丁目16番1号  
設立：1952年4月  
電話番号：06-6481-8807  
ホームページ：<http://www.kyouei-d.co.jp>



メカ部品の原点がここにある！

(1) 沿革等

・当社は、1941年(昭和16年)に大阪市淀川区で山崎ポンプ製作所として設立。1968年(昭和43年)に山崎製作所に改称した。1983年(昭和58年)に株式会社山崎製作所に改組。1989年(平成元年)に現在の神崎郡福崎町に移転した。2013年(平成25年)、現社長の山崎高秀氏が代表取締役役に就任し、現在に至る。



粉末冶金製品

ロー付け製品

(2) 当社の特徴

・当社は、粉末冶金製品および銅ロー付け製品の製造を得意とする金属加工製造業である。具体的にはATMの(紙幣・貨幣)搬送部品や駅の自動改札機等の(切符等)搬送部品の製造が中心である。また、産業用ベルトコンベアや生産設備部品、医療関係の機械部品も製造している。

・特に焼結含油軸受けの加工においては、金属粉の隙間に強制的に油を含ませながら、金属粉の隙間を潰さず加工する高度な技術力を有している。この技術は当社の主要顧客の協力会社では3社が保有するのみである。



入出金システム機

(3) 今後の展開

・今後については、当社の得意先が参入を予定しており、急速に市場が拡大している「ヒト型の組み立てロボット」の部品製造への進出を計画している。

・ロボットコア部品(摺動部)の受注に向けて、その部品の加工誤差、および測定誤差を最小化するため、検査精度が最も高いとされる三次元測定機(読み取り精度1万分の1mm(0.1μ))を導入する。これによって、既存の加工品においても検査効率の大幅な向上が期待される。



ヒト型の組み立てロボット

【(株)山崎製作所 概要】

代表者：山崎 高秀  
 資本金：1,000万円  
 従業員数：22名  
 所在地：神崎郡福崎町高岡1521-4  
 設立：昭和58年11月  
 電話番号：0790-22-1746  
 ホームページ：<http://www.yamazaki-ss.com>



「安心・安全を一步前に」進める企業!

(1) 沿革等

- ・当社は、2015年(平成27年)に創業。2016年(平成28年)に現社長の高木 祐氏が代表取締役役に就任した。2018年(平成30年)に東北大学連携インキュベータ T-Biz内に仙台ラボ&ショールームを開設。同年、西明石に事務所を開設。2020年(令和2年)に兵庫県最先端技術研究事業(COEプログラム)に当社テーマが採択された。2023年8月に神戸市西区玉津町に新本社工場を移転した。



お客様の仕様に合わせた  
最適な形状の化学吸着剤

(2) 当社の特徴

- ・当社は、原子力発電所向けのセシウム吸着材の生産・納品、および各種エンジニアリング・開発委託サービスを提供する企業である。セシウム吸着材は、東京大学が発明した吸着素材を活用し、各設置場所に応じた設置方法や形状を設計、製作(特開2017-173311)して原子力発電所に納品しており、多くの電力会社から信頼を得ている。
- ・エンジニアリング・開発委託サービスは、原子力発電所における実績から、電力会社や電気設備メーカー、大手工事会社などからの設備の開発委託や試作実証と評価試験の依頼に対応している。取り組んだ内容の一例としては「配管内の走査型ロボット開発」などがある。



(3) 今後の展開

- ・今後については、当社が取り組んできた技術開発の経験をベースにまだまだ需要に対して不足しているロボットシステムインテグレーター (FA) 事業の展開を準備している。特に、画像処理やロボットを使ったFAを中堅中小企業でも採用できるパッケージ商品とし、顧客が選択して装置を製作するモデルの実現を図る。それにより中堅中小企業へのFA導入を促進し、労働人口減少による影響が大きい同規模企業の競争力向上に寄与することを目指す。



【HKテクノロジー(株) 概要】

代表者：高木 祐  
資本金：100万円  
従業員数：29名  
所在地：神戸市西区玉津町吉田484番地3  
設立：2015年7月  
電話番号：078-922-5555  
ホームページ： <https://www.hk-tech.co.jp>



## 「パワーエレクトロニクス製品」を電線加工技術で支える企業！

### (1) 沿革等

・当社は1982年(昭和57年)に先代が電気工事業から業態転換し、2次下請けとして創業。1993年(平成5年)に有限会社に法人化。1999年(平成11年)に現代表が入社し、ミニUPS向けハーネス製作の事業を拡大した。2008年(平成20年)に現代表の河野善之氏が代表取締役に就任し、現在に至る。2011年(平成23年)得意先のミニUPS事業の拠点移管により、ミニUPSの国内生産が大幅に減少したため、大型電源装置の配線加工に方針転換した。2012年(平成24年)には第2工場を賃貸し、2拠点生産を開始した。

### (2) 当社の特徴

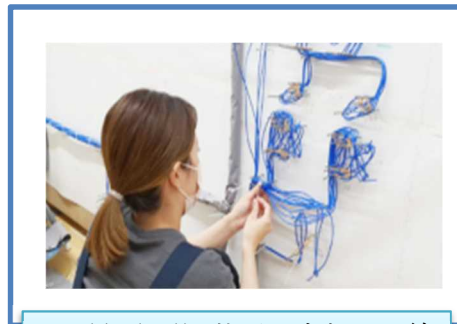
・当社は、配電盤や電源装置の内部の配線の加工を行い、パワーエレクトロニクス製品を支える企業である。盤内での加工ではなく、大きな画板の上で、2次元の配線図を基に電線を形作る工程を担う。

配線加工は1品1様の小ロット生産であり、経験を積んだ多くの女性スタッフが、配線図を読みながら細かい作業を行い、綺麗な仕上がりを重視して仕上げている。

\*パワーエレクトロニクスとは：電力の輸送・変換・制御・供給や、電子機器の電源などに関わる技術分野のことで、電力消費が増える中、省エネやクリーンエネルギーの搬出に重要な分野として注目されている。

### (3) 今後の展開

・今後の展開については、材料支給のビジネスモデルから自己調達型のビジネスモデルの変更を行う。当社が材料の発注業務を担うことにより取引先は、材料を支給する手間や労力が省け、効率化が図れる。自社で在庫管理を行う必要があるため、在庫管理ツールを活用した在庫管理システムを構築する計画である。



配電盤や電源装置の内部の配線の加工を大きな画盤上で行う



綺麗な仕上がりを重視した細やかな配線作業の風景



誠意を込めたモノづくりの現場では多くの女性スタッフが活躍

### 【(株) (有)菅原工業 概要】

代表者：河野 善之

資本金：300万円

従業員数：46名

所在地：揖保郡太子町鶴275-5

設立：1993年(平成5年)10月

電話番号：079-276-3929

ホームページ：<https://sugaharakogyo.co.jp>



## 商業施設のトータルプランニング企業！

### (1) 沿革等

・当社は、2000年(平成12年)に現社長の川口研司氏が、ケンズディレクトの屋号にて個人事業を創業した。2002年(平成14年)に有限会社ディレクトとし、法人化。2006年(平成18年)に株式会社ディレクトに商号変更した。2013年(平成25年)に東京事務所を開設。2015年(平成27年)に西宮市に本社を新築した。

### (2) 当社の特徴

・当社は、ディスプレイ業界における国内最大手企業の内装部門実働部隊の一角を占め、ディスプレイ業界に特化した事業を運営している。大型ショッピングモール、ホテル、百貨店、駅ビルなど、デザイン性を求められる内装工事の施工、監修に実績を上げ、施工やデザインに卓越したノウハウを蓄積している。施工経歴には、関西圏、関東圏における有数の大型ショッピングモールや有名施設を有しており、得意先からも厚い信頼を獲得している。

また、約300社の外注先とも厚い信頼関係を構築し、そのうち約50社とは強固な取引関係を保ち、協力会社のネットワークとしてコアな戦力を形成している。

### (3) 今後の展開

・今後については、自社ブランド開発の取組を進める。技術をデジタル化し現場作業の簡素化や効率アップを図る事を目的として取り組み、現場で発生する端材や製作段階での不要材などで製作できるものをコンセプトに商品開発を進める。また、サステイナブルエッジの高い機器を導入し、新たな工法や新ブランドの開発にも着手している。



商業施設の施工現場の様子



意匠図面を図解して協力者と共に形を造りあげていく



3D ルーター  
ZUND

技術のデジタル  
化の取り組み

### 【(株)ディレクト 概要】

代表者：川口 研司  
資本金：600万円  
従業員数：16名  
所在地：西宮市池田町2-14-2  
設立：平成14年8月  
電話番号：0798-61-1170  
ホームページ：<http://www.e-direct.co.jp/>





## 消防設備のトータルエンジニアリング!

### (1) 沿革等

・当社は、1968年(昭和43年)に先代社長の妹尾寿夫氏が個人事業として創業。1977年(昭和52年)に法人成りし、株式会社甲進を設立。現社長の佐々木肇氏は1981年(昭和56年)に入社。1998年(平成10年)に大阪営業部所長、2010年(平成22年)に専務取締役に就任。2012年(平成24年)に先代社長より親族外承継を受け、代表取締役に就任し、現在に至る。

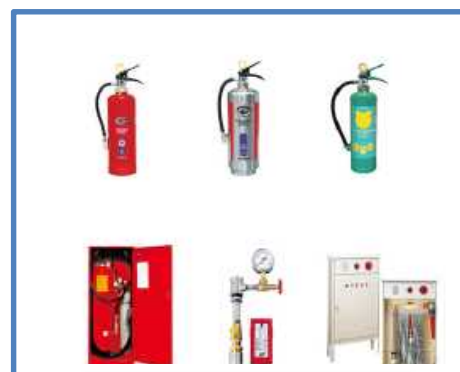
### (2) 当社の特徴

・当社は、神戸市中央区に本社を置き、防災関連検査及び防災工事を行う企業である。地場企業の発展を防災の視点から支援するものであり、火災等による従業員の被災を防ぐとともに、将来予想される「東海・東南海・南海トラフ大地震」に備え、事業者へ安全安心を提供する企業である。

また当社は、所轄官庁である消防署との連携も取れており、検査内容等に対する信頼度も高い。今後の法令改正や新技術出現にも敏速に対応し、常に最新の情報を基に顧客を支援できる企業である。

### (3) 今後の展開

- ・今後については、消防法を中心とした法令改正の内容の理解と影響について継続的に社内研修を行い、さらなる従業員の技術水準や知識レベルのボトムアップを図る。
- ・コロナ後のインバウンド需要の回復により民泊需要の増加や古民家を改築して、飲食業や宿泊業、物販店を経営する例が増加しており、消防防災設備の設置需要の拡大が見込まれる。



消火器・消火設備



警報設備・避難設備



消防設備  
配置図

消防設備  
点検・修理

### 【(株)甲進 概要】

代表者：佐々木 肇  
資本金：1,000万円  
従業員数：15名  
所在地：神戸市中央区橋通2丁目3番5号  
設立：昭和52年9月  
電話番号：078-341-3968  
ホームページ：<https://www.kousin.net/>



## 大地のエネルギーと共に進化し続ける企業!

### (1) 沿革等

・当社は、1951年(昭和26年)に旧食糧公団職員が中心となり但馬米穀株式会社を設立した。1955年(昭和30年)兵庫県知事の許可を受け、プロパンガス販売事業を開始。1977年(昭和52年)豊岡市大手町より現在地、豊岡市中陰に本店及び精米工場を移転。2010年(平成22年)城崎米穀有限会社の全株式を取得し事業継承した。2020年(令和2年)に営農型太陽光発電、スマート農業をスタートさせ、2021年(令和3年)に神河町市立越知谷小学校を廃校利活用として賃貸契約を神河町と締結した。



廃校利活用プロジェクト  
農業体験型のキャンプ場

### (2) 当社の特徴

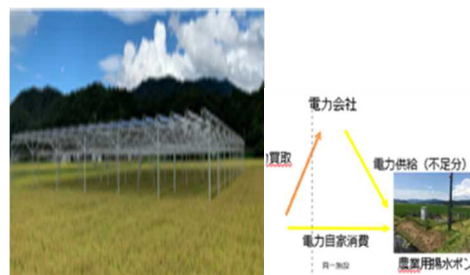
・当社は、兵庫県北部を中心に米穀事業とエネルギー事業を行う卸売業者である。近年、スマート農業事業を立ち上げ機器販売や研修を行っている。米穀事業では、玄米の卸売りや精米販売を行い、エネルギー事業ではプロパンガスの販売を行っている。エネルギー関連では営農型太陽光発電、スマート農業事業ではトラクター自動操舵や農業用ドローン等の販売を展開している。また、スマート農業事業が進む中で展示場を持ちたいとの思いから、運動場に農業ハウスを建てることで神河町の廃校を活用した一般の人達を対象に、農業体験型のキャンプ場をスタートさせた。



スマート農業事業  
後付け自動操舵システム、  
農業用ドローン、自動給水水門

### (3) 今後の展開

・今後については、人手不足対策やさらなる労力の軽減のため、田植え前の作業から乾燥調製までのトータルなスマート農業の提案を「儲かる農業の勉強会」等を通じて行う。また、営農型太陽光発電のソーラーシェアリング事業をより活発化させて、消費電力に対する地産地消の再生可能エネルギー比率を向上させることを目指す。



ソーラーシェアリング事業  
営農型太陽光発電

#### 【但馬米穀(株) 概要】

代表者：木村 嘉男  
資本金：3,600万円  
従業員数：28名  
所在地：豊岡市中陰318-3  
設立：昭和26年3月  
電話番号：0796-22-2131  
ホームページ：http://[www.tanbei.co.jp](http://www.tanbei.co.jp)



常に半歩先を歩み、最新技術をいち早く取り入れ、挑戦し続ける建設会社！

### (1) 沿革等

・当社は1963年(昭和38年)に光洋建設として、兵庫県淡路島に創業。1996年(平成8年)に社名を光洋建設株式会社として法人成りした。2007年(平成19年)に現代取の長尾洋司氏が代表取締役に就任し現在に至る。2016年(平成28年)には補正ものづくり補助金「第四次産業革命型」を採択され、「i-Construction」に取り組んだ。

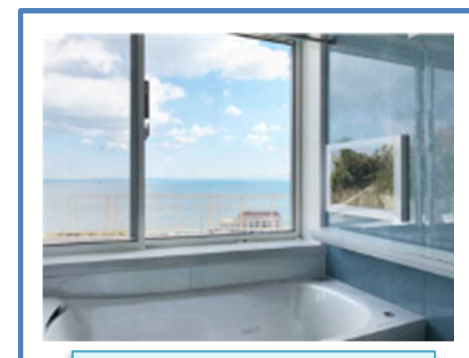


土木工事例：徳原大池改修工事

### (2) 当社の特徴

・当社は総合建設業として、市、県発注の公共工事(主に土木工事)を主体としてきたが、地方の公共工事の減少に伴い民間工事の建築(新築・リフォーム工事)の受注に力を入れており、現在の土木と建築の割合は4:6の比率へと変化している。

・当社は、「i-Construction」を体現化する為に、ドローンによる写真測量、測量設計ソフトによる3次元設計データの作成、それをインプットしたICT建機・GNSS機器による施工・検査が行える体制を構築しており、その一連のシステムは他社にはまねのできない強みとなっている。



建築工事例：KOYO STYLE  
(海が見える家)

### (3) 今後の展開

・今後の展開については、中小事業者としては革新的な取組であるDX化(BIM、CIM)を推進していく。その為に専用ソフトや機器を導入し、最終的にはAR(拡張現実)による見える化の実現に向けて、人材の募集や育成に取り組む。DX化の推進による「工事プロセスの未来化」が実現することにより、更なる顧客満足度の向上や企業付加価値の向上、他社にはまねできない技術力の習得、社員のモチベーションUP等の効果が期待できる。



ドローンによる  
写真測量

3次元設計  
データ

#### 【光洋建設(株) 概要】

代表者：長尾 洋司  
資本金：3,000万円  
従業員数：25名  
所在地：南あわじ市中条中筋939  
創業：1963年(昭和38年)10月  
電話番号：0799-45-0382  
ホームページ：<https://koyo-awaji.co.jp>



## 〔参考〕成長期待企業について

### 1 概要

経営革新や新たな技術・製品・サービスの開発などに取り組んでいる県内の中小企業を応援するため、(公財)ひょうご産業活性化センターを中核機関として中小企業支援機関をネットワーク化した「中小企業支援ネットひょうご」を構築しています。

このネットワークを活用し各種の支援を実施することにより、売上・利益・雇用の面での成長が期待できる企業を「成長期待企業」として選定し、企業の成長に向けて集中的に支援を実施する(原則2年間)制度を設けています。

平成15年以降、500社を超える中小企業を選定しています。

### 2 選定基準

以下の選定基準(選定基準より一部抜粋)をもとに委員会にて企業を選定します。

- ① 成長が期待される元気な中小企業である。
- ② 「中小企業支援ネットひょうご」の構成機関による支援策が有効に活用される業種・業態の企業である。
- ③ 県内に主たる事業所を有する企業である。
- ④ 経営方針(経営理念、具体的目標、ビジョン)がある。
- ⑤ 経営革新・第二創業や新たな技術、製品、サービス等の開発の要素がある。
- ⑥ 支援策の活用により今後3年間において、売上、利益、雇用のいずれかで成長が見込める企業である。

### 3 選定企業への支援

「成長期待企業」として選定された企業は、次の支援メニューを活用できます。

- ① 「コンサルティング支援」(原則2年間)  
当センターの総括コーディネーター・マネージャーによる指導・助言
- ② 「専門家派遣事業による支援」(原則2年間)  
ひょうご産業活性化センターの専門家派遣事業に係る費用負担の軽減
- ③ 「情報提供支援」  
異業種間での経営者同士の情報交換機会の提供(ひょうご成長期待企業定例会を奇数月開催)
- ④ 「企業PR支援」  
「中小企業支援ネットひょうご」のホームページ上に選定企業として掲載